

1. 単元のねらい

- ゲーム、歌やCM作りを通して、「雪遊び」に関する“Let’s ~!”、“OK!”を中心とした英語表現を使い、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
- ALTの国の雪遊びに関心を持ち、自分たちの遊びとの相違点に気づく。

2. 単元の評価規準

- ・“Let’s ~!”、“OK!”と大きな声で言ったり、ジェスチャーを入れたりしながら、自分の言いたいことを友達に伝えようとしたり、友達の言いたいことを理解しようとしたりしている。
- ・ALTの国の雪遊びに関心を持ち、自分たちの遊びとの相違点に気づく。

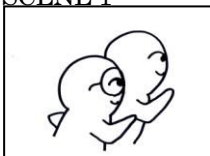
3. 単元計画 (外国語活動 1 2 時間)

月	小単元名・ねらい	学 習 活 動	評価の観点・留意点等
1	オリエンテーション (2)	○雪遊びをする ○たくさんの雪遊びをしたことを想起させる。教師からのCMの例示を参考にして、自分たちの楽しい雪遊びをCMにし、ALTの先生に伝えるという学習計画を立てる。	○CM作りのアイデアを一生懸命考えることができたか。
	雪遊びの紹介 (1) ・雪遊びについてのCMを作ろうとする意欲をもつ。	○～先生にCMで雪遊びを紹介するために、どのような雪遊びがあるのかをみんなで考える。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> どのような雪遊びがあるのか考えよう </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">かまくら 作り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪合戦</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪だる ま作り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪中サ ッカー</div> </div> ○「一緒に作ろうよ」「始めるよ」「終わり」などCMに必要な言葉を考え、英語での表現を随時調べていくようにする。 ○“Let’s ~!”、“OK!”をCMの中で使う。 ○ALTの子どもの頃の雪遊びにはどのようなものがあるのか予想する。(ALTの出身地に雪が降る場合)	○友達と積極的に関わり、CM作りのアイデアを一生懸命考えることができたか。 ◆英語表現 Let’s make a snowman! Let’s play soccer! Let’s have a snowball fight! Let’s jump! Let’s run! OK!
2	雪遊びの英語に慣れ親しむ (3) ・“Let’s ~!” “OK!”の使い方を覚え、実際にコミュニケーションに生かそうとする。	○雪遊びで使う言葉をリズムに合わせたり、“Recess Time Song”で歌ったりする。 ○キーワードゲームをしよう! ○サークルゲームをしよう! ○“Let’s ~!” でタルを誘ってあげよう! 雪たんけん館のHP http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp ○活動の振り返りをしよう。	○雪遊びについて、大きな声で話したりジェスチャーを入れたりしながら、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとしていたか。 ◆カードゲームでの英語表現 Let’s make a snowman! Make it big, make it big, finished!

		<p>○雪遊びで使う言葉をリズムに合わせてたり、“Recess Time Song”で歌ったりする。</p> <p>○キーワードゲームをしよう。</p> <p>○Let’s play the card game! カードゲームをしよう。</p> <p>○活動の振り返りをする。</p> <p>○雪遊びで使う言葉をリズムに合わせてたり、“Recess Time Song”で歌ったりする。</p> <p>○“Let’s ~!” でタルを誘ってあげよう! 雪たんけん館の HP http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp</p> <p>○Let’s play the card game! カードゲームをしよう。</p> <p>○活動の振り返りをする。</p>	<p>Let’s play snow soccer! Kick, kick, kick, finished! Let’s have a snowball fight! Zip, zip, zip, finished! Let’s jump! Boing, boing, boing, finished! Let’s run! Fast, fast, fast, finished! Let’s make an igloo! Make it big, make it big, finished!</p>
<p>CMを作ろう (4)</p> <p>・英語の表現を生かしながら、起承転結を工夫したCMを作ることができる。</p>		<p>○どのCMを作るのかグループに分かれて考える。</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">どのCMを作るのか考えよう</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">かまくら 作り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪合戦</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪だる ま作り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪中サ ッカー</div> </div> </div> <p>・CMの中で使いたい英語表現を出し合い、適宜復習や英語表現の追加をする。</p> <p>○CMに必要な写真を撮る。</p> <p>・起承転結になるような4枚の写真を撮ることを基本に考える。</p> <p>○プレゼンテーションソフトを使ってCMを作り、それにあった台詞を考え、練習をする。</p> <p>○オリエンテーションで予想したALTの子どもの頃の雪遊びについて、もう一度考えてみる。</p>	<p>○友達と協力して取り組み、習った英語表現を使いながら、CM作りに取り組むことができたか。</p> <p>◆雪だるま、かまくら作りは人形などを主人公にすると短時間で準備ができ、写真撮影が容易になる。</p>
<p>～先生にCMで雪遊びを紹介しよう (2)</p> <p>・CMの発表をしながら、進んでALTと交流しようとする。</p>		<p>○～先生にCMを紹介する</p> <p>・CMの最初に簡単に自己紹介をする。</p> <p>○～先生の子どもの頃の雪遊びを聞く。</p> <p>○単元の振り返りをする。</p>	<p>○友達と積極的にコミュニケーションを図りながら自分のCMを発表したり、友達のCMを理解したりしようとしていたか。</p> <p>○ALTの子どもの頃の雪遊びに関心を持ち、自分たちとの相違点に気づくことができたか。</p>

CMの例

SCENE 1



児童の台詞
A: Let’s run!
B: OK, let’s!

SCENE 3



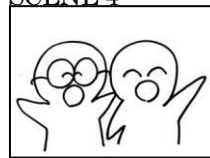
児童の台詞
A: Wait!
B: Goal!

SCENE 2



児童の台詞
A: Ouch!
B: Chance!

SCENE 4



児童の台詞
A&B:
It’s fun! See you!

4. 本時の展開例(6/12)

〈本時のねらい〉

- ・ゲームや歌を通して、“Let’s ~!”、“OK!”と大きな声で話したり、ジェスチャーを入れたりしながら、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

〈本時の評価〉

- ・ゲームや歌を通して、“Let’s ~!”、“OK!”と大きな声で話したり、ジェスチャーを入れたりしながら、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとしていたか。

〈本時の展開〉

子どもの活動	留意点
<p>①今日のがんばりポイントを決めよう！</p> <p>②Greetings(あいさつ)</p> <p>③Review(復習)</p> <p>④ ゲーム1：“Let’s ~!”でタルをさそってあげよう！</p> <div data-bbox="279 705 1077 1019"> </div> <p>説明：</p> <p>①画面ではタルという男の子が2つの外遊びのどちらかをするか迷っている。</p> <p>②子どもたちは、それぞれ2つの外遊びから1つを選び、“Let’s ~!”と言う。</p> <p>③次の画面でタルが選んだ活動が出る。タルと同じだった子どもたちに1ポイント。</p> <p>④言い終わったら、外遊びを一緒にするジェスチャーをして終わる。</p>	<p>留意点</p> <p>例</p> <p>C1: Let’s run!</p> <p>C2: Let’s jump!</p> <p>(HPをクリック)</p> <p>Tal: OK! Let’s!</p> <p>(画面にはタルの走る動作が表示される。走ろうと誘ったC1に1ポイント。)</p>
<p>⑤ ゲーム2： Let’s play the card game! カードゲームをしよう！</p> <div data-bbox="406 1332 1268 1534"> </div> <p>説明：</p> <p>①4人1組のグループになる。</p> <p>②4種類のカードを裏返しにして、重ねておく。</p> <p>③Group1 C1が回答者となり、自分の頭の上に、カードをあげる。</p> <p>④Group1 C2-C4の子どもたちはカードの内容を動作でGroup1 C1の子どもに伝える。</p> <p>⑤Group1 C1は“Jump!”と答えた後、“Let’s jump!”といい、グループ全員で動作をしたり、声に出したりする。これができて1ポイント。</p> <p>⑥次は回答者を変えていく。これをグループ対抗にして、タイムを競う。</p>	
<p>⑥ 歌： Let’s sing the “Recess Time Song” 休み時間の歌を歌おう！</p> <p>⑦ “Good job” Time 友達のがんばったと頃を教えてあげよう。</p> <p>⑧ “What did you get?” Time 振り返りカードを書こう！</p>	

